

会員会社紹介

SAFT サフトジャパン株式会社

1. 会社概要

1918年、2人のスイス人化学者が、フランスで設立した産業用バッテリーの専門メーカーです。2016年には、エネルギー大手・仏トタルグループの一員となりました。2015年に日本法人を東京・新橋に設立し、横浜市にアフターサービス拠点を設けています。そして今年2018年、創業100周年を迎えます。

今後も日本のお客様のニーズに合わせたきめ細かな対応をして参りたいと考えております。



[商号] サフトジャパン株式会社
SAFT JAPAN K.K.
[創立] 2015年11月12日
[代表者] 代表取締役 ピール・アンドレ・ナツ
[資本金] 218.6百万円
[社員数] 10名(派遣・契約社員含む)
(2018年1月現在)

2. 事業紹介

サフト社はニッカド電池を中心に、リチウム一次電池、リチウムイオン電池など、産業用バッテリーのグローバルサプライヤーで、4つの事業分野で構成されています。鉄道のほかにも航空機、人工衛星、再生可能エネルギー、スマートメーター用バッテリーなども提供しております。



- ①産業用予備電源 (売上比率 23%)
- ②交通・輸送・グリッド (同 28%)
- ③民生用電子機器 (同 38%)
- ④宇宙および防衛 (同 11%)

現在、世界に14カ所の製造拠点、31カ所の販売拠点を設けています。日本では約30年前から商社経由で商品を提供してまいりました。現在、鉄道用ニッカドバッテリーは、国内・海外向けを問わず多くのお客様にご愛顧をいただいております。今後は日本でも鉄道車両に加えて、信号用や再生エネルギー用、センサー用などにも弊社のバッテリーを採用いただけるよう活動して参ります。

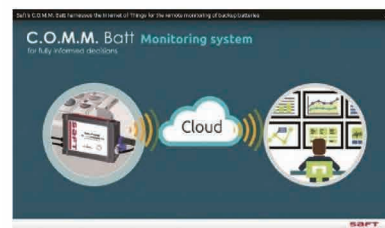


3. トピックス

2018年9月に、ドイツ・ベルリンで開催されるInnoTransに出展致します。(ホール15.1 ブース205)皆様のお越しをお待ちしております。さらに11月には日本で製品紹介セミナーの開催も予定しております。



また新規技術として、「C.O.M.M.Batt」というバッテリーモニタリングシステムをIoT社会のニーズに合わせて展開して参ります。



4. おわりに

今後のEモビリティ社会やIoT社会では、バッテリーは重要なキーパーツになります。弊社の製品を通して、特に鉄道生産性の向上に貢献していきたいと考えております。何卒、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【サフトジャパン株式会社
シニアセールスマネージャー 奥山 聡】